

まちのわだい

美しい大山を守るために

～大山 春の一斉清掃～

行楽シーズンを前に観光客を気持ちよく迎えるため、4月16日（日）、大山周辺の市町村で一斉清掃を行いました。

伯耆町では、地元自治会や企業ボランティアなど約100名が参加し、榎水高原や榎水周辺の観光道路などを清掃しました。当日は、肌寒い天候の中、参加者が山中に捨てられた空き缶やマスクなどのごみを1時間程度かけて拾い上げました。収集されたごみは、前回と比較してごみの量が減少しているとのこと。これから行楽シーズンとなります。自分で出されたごみは必ず持ち帰り、美しい大山を守りましょう。



道路沿いのごみを拾いました

プール修繕への助成が決定

～B&G海洋センタープールを修繕～

4月24日（月）、全国でスポーツ施設を整備する公益財団法人B&G財団から、伯耆町岸本B&G海洋センターの修繕にかかる修繕助成決定書を授与いただきました。

この修繕助成は、B&G財団が全国の施設の中で優良な施設運営を行った施設に対して助成を行うもので、本町は12年連続「特A」という優良な施設運営を行っていたことにより今回の助成が決定しました。

本町では今年度海洋センターのプール修繕を予定しており、修繕費用の7割にあたる2210万円を助成いただくこととなりました。B&G財団常務理事古山透さんは「岸本町時代からこの施設を使っていたいただいています。修繕を行うことで、これからも、子どもたちから高齢者の方まで、幅広く町民皆さんの健康維持・増進に活用いただきたい」と述べました。



助成決定書をいただきました

伯耆町定例表彰式

伯耆町定例表彰式が4月26日（水）、農村環境改善センターで行われ、2名の功労者が表彰されました。

この表彰は、公共の利益や福祉の増進に貢献した人、自治会・地域活動の推進に貢献した人などを表彰するものです。

今年は、教育委員として10年以上本町の教育の充実発展に貢献した大木寿之さんと、学校薬剤師として子どもたちの安全な学校環境衛生の維持管理などに貢献した遠藤千恵子さんが表彰されました。

伯耆町表彰条例表彰者

※順不同 敬称略、（）内は表彰された功績

功労表彰

- ・大木 寿之（教育委員会委員）
- ・遠藤千恵子（学校薬剤師）



式に参列した表彰者の大木 寿之さん

地域とともに150年

～二部小学校 創立150周年記念事業～

一部小学校で5月4日（木）、一部小学校の創立150周年を祝う式典が開かれました。

この式典は、一部小学校が1873年（明治6年）に開校、今年4月に開校150年を迎えたことを記念して開催され、一部小学校在校生や周辺地区の住民およそ100名が集まりました。

式典では、町長の祝辞、実行委員長のあいさつのほか、実行委員会が作成した一部小学校の変遷をまとめた映像上映や一部小学校在校生による歌の発表が行われ、一部小学校の歴史を感じられる式典となりました。



式典の様子



「世界じゅうのこどもたちが」を歌いました



大にぎわいのNIBU FES

翌日5月5日（金）には記念イベント「NIBU FES（一部フェス）」が行われ、屋台出店やステージイベントでにぎわいました。小学校グラウンド

は屋台広場となり、なんば商店のかも鍋やつくしの会のおこななど10店を超える屋台が並びました。

イベントに参加した一部小学校卒業生は「10年以上前に卒業した一部小学校。このイベントのおかげで、またみんなが集まることができました。思い出がよみがえってきて懐かしくうれしい気持ちです」と笑顔で話しました。

交通事故ゼロを目指して

～春の交通安全運動啓発活動～

春の全国交通安全運動期間中（5月11日～20日）の5月12日（金）、江府町と合同の街頭啓発活動がフレスポ伯耆で行われました。

啓発には、伯耆町、江府町の交通安全指導員や保育所・小学校の交通安全保護者の会、鳥取県交通安全協会日野川地区協会の会員のほか、こしき保育所の園児など約50人が参加し、フレスポ伯耆内店舗の買い物客に対し、安全たすきやティッシュを手渡しながら交通安全を呼びかけました。運動期間以外でも安全運転を心がけ、交通事故ゼロを目指しましょう。



「交通安全お願いします!」と呼びかけ